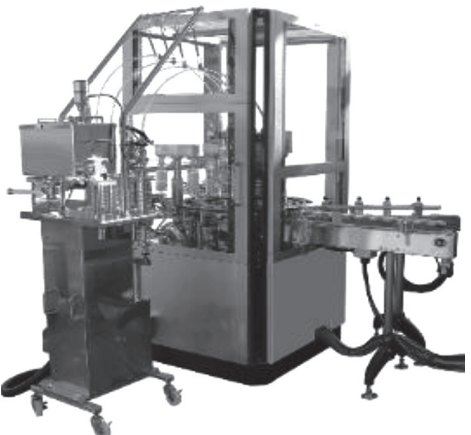


長泉町ファルマバレーセンター内に 研究拠点を新設

静甲(株)静岡市清水区天神2
—8—1、鈴木孝典社長)は4月、
静岡県東部地域に集積する医
療・健康産業クラスターの中核
機関「ファルマバレーセンター」内に
研究拠点を新設し、包装機械事
業の研究施設の一部を移転した。
医薬・医療分野の深耕と地域経
済への貢献を目的としたもの。

新拠点の名称は「静甲(株)ファ
ルマバレー・メディカルラボ」。所
在地は、駿東郡長泉町下長窪1002
—1、静岡県医療健康産業研究開発
センター(ファルマバレーセンター)研
究開発室302号。

同社はこれまで、包装機械を中心
とした産業機械メーカーとして、食品
や化学などさまざまな業界で技術基
盤を築いてきた。新たな拠点では、同
社の充填・包装技術とグループ会社
の殺菌・衛生・洗浄技術を融合させ、
医薬品や介護用品の製造・品質管理
プロセスにおける効率化と品質向上
に寄与するとともに、医療現場の具
体的なニーズを直接収集し、次世代の
充填・包装ソリューションを創出する
研究開発拠点として活用していく方
針だ。



開発のベースとなる標準充填システム

具体的には、①医薬品に対応する
チューブ充填設備の研究開発(高い密
閉性と精度が求められる医薬品向け
チューブ充填技術の高度化を推進)②
医薬製剤に対応する高精度無菌充
填システムの研究開発(クリーン環境
仕様の標準充填システムをベースに、
さらなる高度化を推進) —のテーマ
を中心に活動を展開する。

同社は「本プロジェクトへの参画を
通じて、常駐技術者による研究に加
え、センター内の関連企業や大学・研
究機関とのマッチングを通じた共同
開発や、世界レベルの医療健康産業の
集積を目的とする同地域の躍進に貢
献し、静岡から世界へ向けた医療ソ
リューションの発信を目指します」と
コメントしている。